

平成 31 年度

大阪市こころの健康センター 所 報

大阪市こころの健康センター

はじめに

平成 31 年度の大阪市こころの健康センター所報の刊行に際しまして、ご挨拶申し上げます。

平成 31 年度は、平成が終わり、令和が始まる節目の年となりました。また、新型コロナウイルス感染症のパンデミックが発生し、公衆衛生上はもとより、私たちの生活に非常に大きな影響を与えることとなりました。

様々な場面で新しい生活様式が示され、身体的距離の確保、マスクの着用、こまめな手洗いなど一人ひとりの基本的な感染対策から、買い物や公共交通機関利用時の感染予防の対応など、これまで普通にしてきたことを見直さなければならない事態が生じています。

こころの健康センターにおきましても、緊急事態宣言中の各種相談事業や研修を中止するとともに、新型コロナウイルス感染症に関するこころの悩み電話相談を実施するなど、対策を行ってまいりました。

未だ、世界での流行は収まりを見せず、日本でも更なる感染拡大に備えた対策が求められる中、当センターとしましても、市民の皆様の不安に少しでも寄り添えるよう、引き続き対策に努めてまいります。

さて、平成 31 年度の当センターの事業内容に大きな変化はありませんでしたが、今後、ひきこもり、8050 問題について、新たな取り組みが必要と考えています。

当センターとしましては、これまで以上に関係機関、団体等との連携、協力を深め、こころの健康に関する諸課題に取り組んでまいりますので、ご支援、ご指導の程よろしくご願ひ申し上げます。

令和 2 年 9 月

大阪市こころの健康センター

所長 喜多村 祐里

目 次

第1 概 要

1	施設の概要	2
(1)	開設	2
(2)	所在地	2
(3)	延べ床面積	2
(4)	平面図	2
2	組織・職員	3
(1)	組織	3
(2)	職員	3
3	予算・決算	4
(1)	歳入	4
(2)	歳出	5

第2 事業実績

1	精神保健福祉センター業務	7
(1)	技術指導及び技術援助	7
(2)	教育研修	7
ア	精神保健福祉関係職員研修	7
(ア)	新任研修	7
(イ)	新任精神保健福祉関係職員フォロー研修	8
(ウ)	現任研修（全体研修）	9
(エ)	現任研修（精神保健福祉従事職員研修）	9
(オ)	精神保健福祉にかかる保健師研修（応用研修）	9
(カ)	思春期関連問題支援者向け研修	11
(キ)	ゲートキーパー専門研修	11
(ク)	ゲートキーパー専門研修（危機介入編）	11
(ケ)	自殺未遂者相談支援事業従事者研修	12
(コ)	ひきこもり相談窓口事業研修会	12
イ	精神保健福祉関係 人材養成研修	12
(ア)	現任研修（全体研修）と合同で実施	12

(3) 普及啓発	12
ア こころの健康講座	12
イ ひきこもり市民講座	13
ウ 思春期関連問題市民講座	13
(4) 調査研究	13
(5) 技術支援	14
ア 関係機関への一般相談	14
イ でかけるチーム精神保健相談	15
ウ 個別支援	16
(6) 精神保健福祉相談	17
ア 思春期関連問題相談	17
イ 薬物関連問題相談	18
ウ こころの悩み電話相談	19
(7) 自殺防止対策事業	20
ア 自死遺族相談	20
イ 自殺未遂者相談支援事業	20
ウ ゲートキーパーの養成	21
エ 自殺予防啓発活動の取り組み	21
オ こころの健康相談統一ダイヤル	21
カ うつ病予防の普及啓発	23
キ うつ病の家族教室	23
ク 大阪市自殺対策検討連絡会議	23
(8) ひきこもり相談窓口事業	24
ア ひきこもり電話相談件数	24
イ ひきこもり面接相談件数	25
ウ ひきこもりアウトリーチ件数	25
(9) 依存症対策支援事業	26
ア 相談支援事業	26
イ 依存症支援者育成事業	27
ウ 普及啓発・情報提供事業	29
エ 依存症家族支援事業	30
オ 依存症関連機関連携会議	31
カ 依存症治療拠点及び専門医療機関の選定	31
キ 薬物乱用防止対策事業	31

(10) 措置入院者等退院後支援事業	32
(11) 組織の育成	32
(12) 精神医療審査会	33
ア 開催状況	33
イ 入院届・定期病状報告の審査状況	33
ウ 退院・処遇改善請求の審査状況	34
エ 実地審査状況	34
(13) 大阪市自立支援医療費（精神通院）支給認定・手帳交付審査委員会の運営	34
2 精神保健福祉主管課業務	35
(1) 精神保健福祉審議会の運営	35
ア 自殺防止対策部会	35
(2) 措置・緊急措置診察（入院）業務	36
ア 措置診察	36
イ 緊急措置診察	36
(3) 医療保護入院等の移送事業	36
(4) 精神障がい者保健福祉手帳の交付	37
(5) 障がい者の乗車料金福祉措置	37
(6) 自立支援医療費（精神通院）の支給認定	37
(7) 精神障がい者地域生活支援広域調整等事業	37
ア 地域移行支援の実施状況	37
イ 地域生活移行推進事業	38
ウ ピアサポーターによる啓発活動	38
エ ピアサポーター交流会	39
オ ピアサポーター養成講座	39
カ 技術支援・コーディネート	39
(8) 心神喪失者医療観察法に基づく社会復帰支援	40
(9) 精神科救急医療体制整備事業	41
ア おおさか精神科救急ダイヤルの設置	41
イ 精神科救急医療情報センターの設置	42
ウ 一次救急医療体制の整備	42
エ 二次救急医療体制の整備	42
オ 身体合併症治療体制の確保	42
カ 夜間・休日精神科合併症支援システム	44
(10) 精神保健福祉に関する予算・決算業務	46

第3 資 料

1	大阪市精神保健福祉審議会 開催内容 -----	48
2	精神医療審査会 -----	54
	(1) 運営状況 -----	54
	(2) 実地審査状況 -----	55
3	措置（緊急措置）診察・入院状況 -----	56
4	精神障がい者保健福祉手帳交付状況 -----	57
5	精神障がい者保健福祉手帳所持者数 -----	58
6	自立支援医療費（精神通院）受給者数状況 -----	58
7	自立支援医療費（精神通院）受給者数 -----	58
8	保健福祉センターにおける相談指導の状況 -----	59
9	保健福祉センターにおける一般クリニックの状況 -----	60
10	保健福祉センターにおける日常生活向上教室・生活技能訓練教室の状況 -----	61
11	保健福祉センターにおける酒害教室の状況 -----	62

第 1 概 要

1 施設の概要

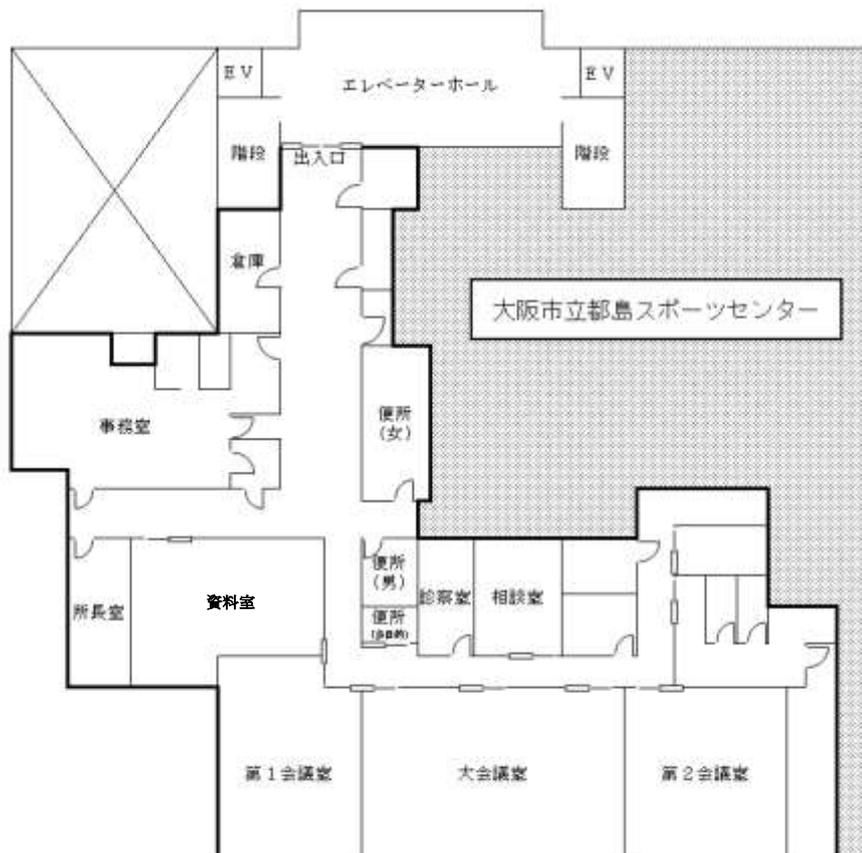
(1) 開設 平成12年4月1日

(2) 所在地 大阪市都島区中野町5丁目15番21号 都島センタービル3F



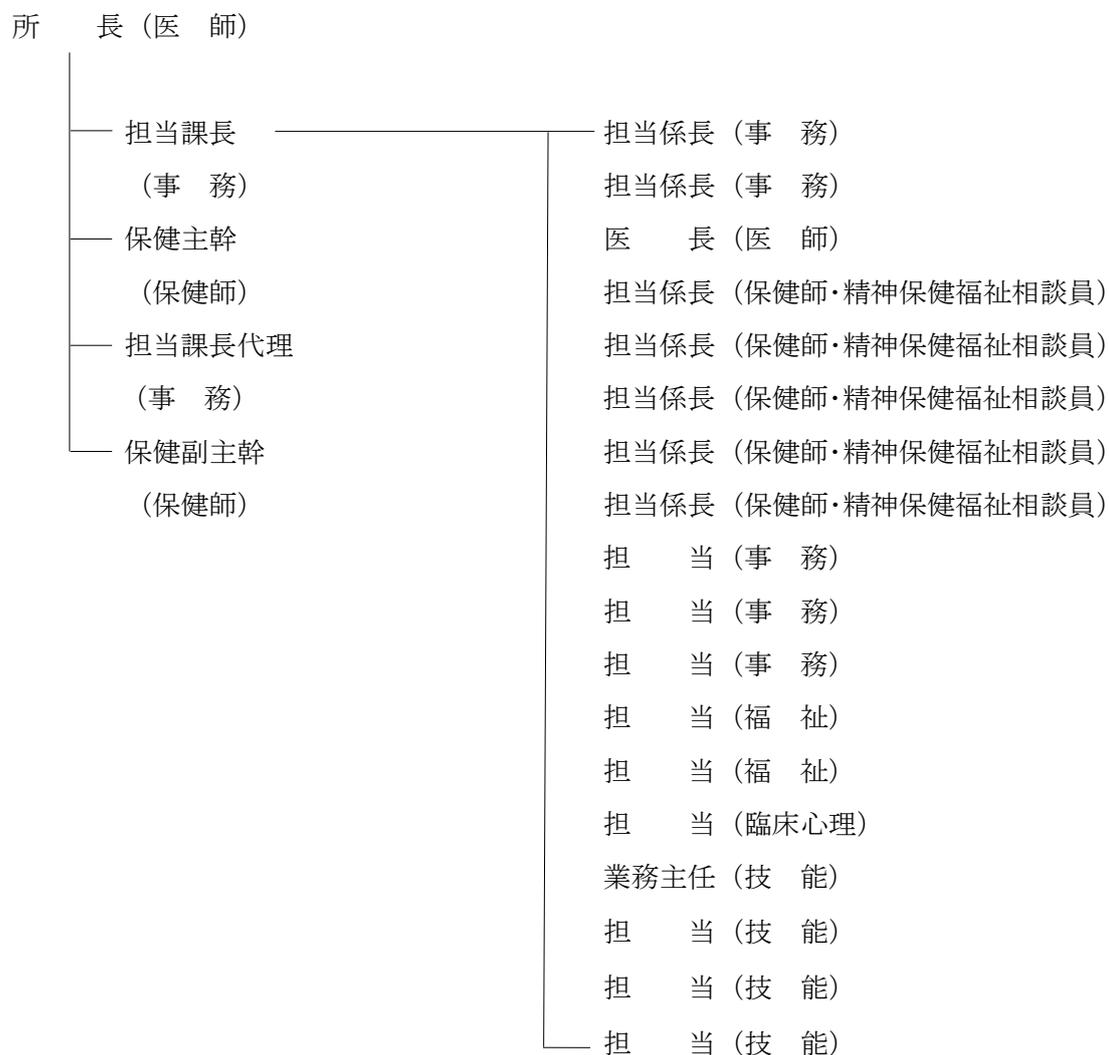
(3) 延べ床面積 992.75㎡

(4) 平面図



2 組織・職員（令和元年5月1日現在）

（1）組 織



（2）職 員

	事 務	福 祉	臨 心 床 理	医 師	保 健 師	技 能	計	精神保健福祉相談員 （再 掲）
								保 健 師
人 数	7	2	1	2	7	4	23	5

※医師1名欠員

3 予算・決算

(1) 歳入

(単位：千円)

事 項	令和2年度 予算	平成31年度 決算
使用料	672	594
でかけるチーム精神保健相談事業	32	0
精神科救急医療体制の整備事業	640	594
手数料	15	6
こころの健康センター管理運営費（診断書料）	15	6
国庫負担金	6,271,478	6,120,339
精神障がい者通院医療費	6,144,719	5,996,981
措置・緊急措置診察及び入院事業	4,981	3,691
措置入院費公費負担事業	121,778	114,898
精神保健費等国庫負担金追加交付	-	4,769
国庫補助金	65,984	69,554
こころの健康センター管理運営費	776	733
精神保健福祉普及啓発事業	26	26
思春期関連問題相談事業	214	214
でかけるチーム精神保健相談事業	8	8
ひきこもり相談窓口事業	1,723	1,957
自殺防止対策事業	160	201
依存症対策支援事業	4,121	10,893
精神科救急医療体制の整備事業	40,859	36,138
措置・緊急措置診察及び入院事業	13,195	14,570
措置入院者等退院後支援事業	1,810	1,757
精神障がい者地域生活支援広域調整等事業	3,062	3,057
府補助金	2,050	1,828
自殺防止対策事業	2,050	1,828
雑入	50	433
広告料収入（市営交通関係）	16	0
自立支援医療費（精神通院）返還金	-	396
紙類売払等	34	5
臨時職員等の健康保険・厚生年金保険標準報酬月額の上及決定	-	32
計	6,340,299	6,192,754

(2) 歳出

(単位：千円)

事 項	令和2年度 予算	平成31年度 決算
健康総務費	50,454	107,944
総合福祉システム（福祉五法システム）機種更新経費	—	66,075
総合福祉システム（福祉五法システム）運用経費	40,574	40,520
総合福祉システム（福祉五法システム）改修等経費	7,388	731
マイナンバー制度にかかる総合福祉システム改修経費	2,486	607
マイナンバー制度にかかる中間サーバー接続端末設置経費	6	11
保健医療費	13,769,674	13,259,518
精神障がい者通院医療費	12,400,559	11,939,172
こころの健康センター管理運営費	45,175	41,419
精神保健福祉従事職員研修	799	534
精神保健福祉審議会費	191	0
精神保健福祉普及啓発事業	616	400
思春期関連問題相談事業	642	607
でかけるチーム精神保健相談事業	24	9
ひきこもり相談窓口事業	3,452	3,322
精神保健福祉・社会復帰相談指導事業	20,397	19,183
自殺防止対策事業	4,416	3,745
依存症対策支援事業	8,244	5,516
市長入院同意患者面接事業	292	238
精神科救急医療体制の整備事業	100,555	99,479
措置・緊急措置診察及び入院事業	68,675	67,409
措置入院費公費負担事業	162,428	213,268
措置入院者等退院後支援事業	3,622	3,267
精神医療適正化事業	5,172	4,618
心神喪失者等医療観察法に基づく社会復帰支援事業	111	38
精神障がい者保健福祉手帳交付事業	2,822	2,425
障がい者の乗車料金福祉措置	935,087	845,639
精神障がい者地域生活支援広域調整等事業	6,184	3,948
障がい者支援計画及び障がい福祉計画の策定	156	5,201
マイナンバー制度にかかる中間サーバー接続端末設置経費	55	81
計	13,820,128	13,367,462

第2 事業実績

大阪市こころの健康センターでは、精神保健福祉センターの機能に加えて、精神保健および精神障がい者福祉に対する行政機能を総合的、一体的に有している。すなわち精神保健福祉法第6条及び精神保健福祉センター運営要領で定める業務の他に、措置入院の診察・移送などの業務や、精神保健福祉審議会の運営などいわゆる精神保健福祉主管課業務についても実施している。

1 精神保健福祉センター業務

(1) 技術指導及び技術援助

大阪市内には、各区に1か所、合計24か所の保健福祉センターがあり、これらは市民や精神障がい者のさまざまな相談に対応するなど地域精神保健福祉行政の第一線機関である。また精神障がい者の地域生活を支援している各機関も精神保健福祉サービスと関わる重要な機関である。当センターは、これら保健福祉センターや関係機関に対し、専門的立場からさまざまな形で積極的な技術支援および技術援助を行っている。

(2) 教育研修

ア 精神保健福祉関係職員研修

各区の保健福祉センター及び大阪市こころの健康センターの精神保健福祉相談員や事務担当職員を対象に精神障がい者の理解を深め、最新の専門的な情報や技術を習得することを目的とした研修を実施し、職員の資質の向上を図るとともに地域精神保健福祉の活動及び向上に繋げる。

(ア) 新任研修

年 月 日	講 義 内 容	講 師	参加者数
31. 4. 26	精神保健福祉法と大阪市の精神保健福祉行政について	こころの健康センター 精神保健医療担当課長 内 田 弘 之	19人
	自殺対策	こころの健康センター 精神保健医療担当課長代理 片 桐 幹 雄	
	統合失調症・うつ病を中心に精神障がいと疾患、通報における自傷他害性	こころの健康センター 所長 吉 野 祥 一	
	こころの健康センターにおける精神保健福祉業務	こころの健康センター 担当係長 青 木 直 美	
	保護申請（22条）・警察官通報（23条）・移送制度（34条）	こころの健康センター 担当係長 藤 原 早 苗	
	自立支援医療・精神障がい者福祉手帳、市長同意事務手続き・救急医療システム	こころの健康センター 担当係長 山 岡 卓	
	精神医療適正化事業	こころの健康センター 係員 村 田 義 之	
	保健福祉センターにおける業務	こころの健康センター 担当係長 長 尾 尚 子	
	精神保健福祉相談等の事務手続き	こころの健康センター 係員 清 水 博 之	

1.5.8	依存症対策	こころの健康センター 担当係長 伯井理加	4人
	精神保健福祉月報	こころの健康センター 担当係長 藤原早苗	
	地域精神保健福祉活動 危機介入	こころの健康センター 保健主幹 石神朋子	
1.5.16	措置入院者等退院後支援事業	こころの健康センター 担当係長 正木里佳	4人
	自殺未遂者相談支援事業	こころの健康センター 担当係長 青木直美	
	思春期・ひきこもり・自死遺族相談	こころの健康センター 係員 三谷大樹	
	心神喪失者医療観察法 精神障がい者地域移行支援、地域生活 移行推進事業	こころの健康センター 保健副主幹 山田和子	

(イ) 新任精神保健福祉関係職員フォロー研修

年月日	講義内容	講師	参加者数
1.12.2	ケアマネジメント実践におけるア セスメントの意義と方法	こころの健康センター 担当係長 藤原早苗	4人
	事例検討	こころの健康センター 精神保健福祉相談員	
	依存症関連問題のアセスメント介 入の方法について	こころの健康センター 保健主幹 石神朋子	
	事例検討	こころの健康センター 精神保健福祉相談員	
	各区精神保健福祉関連業務の現状 と課題及び今後の方策	こころの健康センター 精神保健福祉相談員	

(ウ) 現任研修 (全体研修)

精神保健福祉の最近の動向について講義研修を実施した(精神保健福祉関係人材養成研修と合同で実施)。

年月日	講義内容	講師	参加者数
1. 8. 7	精神障がい者の権利擁護	浅香山病院 精神保健福祉士 柏木 一恵	22人
1. 9. 5	パーソナリティ障がい	なんば・ながたメンタルクリニック 院長 永田 利彦	57人
1. 11. 12	インターネット依存	大阪市立大学大学院医学研究科 片上 素久	58人
1. 12. 5	統合失調症	にじクリニック 副院長 西浦 竹彦	36人

(エ) 現任研修 (精神保健福祉従事職員研修) [対象 精神保健福祉相談員]

各区保健福祉センターの精神保健福祉相談員が精神疾患についての理解を深め、さらに事例検討をおこなうことで個別支援技術の向上を図ることを目的とした研修。

年月日	講義内容	講師	参加者数
1. 6. 26	SSTの理論と実際	(株) ジャパンEAPシステムズ 川 端 洋 子	41人 (保健師参加あり)
1. 8. 30	強迫性障がいについて、事例を通して学ぶ	さわらび診療所 院長 稲 垣 亮 祐	30人
1. 10. 30	思春期精神保健について、事例を通して学ぶ	くさかメンタルクリニック 院長 日 下 博 登	32人
2. 1. 29	高齢者の妄想性障害について、事例を通して学ぶ	咲く花診療所 院長 田 中 一	32人

(オ) 精神保健福祉にかかる保健師研修 (応用研修) [対象 保健師]

採用4年目以降の保健師を対象とした、精神保健福祉相談員の発令資格要件を満たし、また保健師として精神保健福祉に関する必要な知識及び技術を習得し、スキルアップを図ることを目的とした研修

年月日	講義内容	講師	参加者数
1. 7. 29	オリエンテーション、 保健福祉センター業務	こころの健康センター 係長 長尾 尚子	18人
	カウンセリング理論	大阪市立総合医療センター精神神経科担当係長 原 渡	
	アルコール依存症者への援助	リカバリハウスいちご 所長 佐古 恵利子	
	セルフヘルプグループとその支援	大阪府立大学地域保健学域教育福祉学類准教授 松田 博幸	

1. 10. 29	神経症とその周辺疾患	なんば・かぎもとメンタルクリニック 院長 鍵本 申明	24 人
	社会福祉概論	佛教大学社旗福祉学部教授 篠原 由利子	
	当事者活動	AA 関西 当事者 3 名	
	障がい者の権利擁護、成年後見制度	福祉局生活福祉部地域福祉課担当係長 西村 岳	
1. 11. 19	災害と精神保健	兵庫県こころのケアセンター 田中 英三郎	20 人
	地域生活移行支援	こころの健康センター 保健副主幹 山田 和子	
	家族心理教育	京都ノートルダム女子大学現代人間学部准教授 佐藤 純	
2. 1. 31	家族会活動	大阪府精神障がい者家族会連合会副会長 大野 素子	23 人
	精神障がい者のケアマネジメント	(社福) ふれあい共生会地域活動支援センターもくれん 松川 恵	
	アディクションとその支援	藤井クリニック 医療相談室室長 藤井 望夢	
	問題解決技法	市立ひらかた病院 齋藤 円	
2. 2. 17	精神障がい者の就労支援	大阪障がい者職業センター主幹障がい者職業カウンセラー 金澤 恭子	17 人
	心神喪失者等医療観察法	大阪保護観察所統括社会復帰調整官 村上 明美	
	大阪市の精神保健福祉相談員活動	こころの健康センター 保健主幹 石神 朋子	
	年金制度、障害年金	大手前年金事務所副所長 船引 雅文	
	精神科診療所論	つつみクリニック 院長 堤 俊仁	
	生活保護法	福祉局生活福祉部保護担当係長 井畑 怜生皆	

(カ) 思春期関連問題支援者向け研修

保健福祉センターの精神保健福祉相談員・保健師、市立学校教職員を対象に、従事する職員の資質および技術の向上を目的に研修を実施した。なお、本年度は精神保健福祉関係職員研修の現任研修と同時に開催した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
2.3.3	性別違和の理解と対応について	大阪医科大学 准教授 康 純	32人

(キ) ゲートキーパー専門研修

自殺防止のために一番大切な気づきが行える地域の中心的な役割を果たすべき人材（ゲートキーパー）の育成として地域包括支援センター等を対象に支援者向け専門研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
1.8.29	自殺に傾いた人への支援 ～傾聴と危機介入について～	認定 NPO 法人国際ビフレンダーズ 大阪自殺防止センター 理事長 北 條 達 人	57人

(ク) ゲートキーパー専門研修（危機介入編）

自殺防止のために一番大切な気づきが行える地域の中心的な役割を果たすべき人材（ゲートキーパー）の育成として、精神保健福祉相談員・保健師、査察指導員・生活保護ケースワーカーを対象に危機介入の研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
1.10.2	自殺危機初期介入スキル研修	こころの健康センター 担当係長 正 木 里 佳 こころの健康センター 三 谷 大 樹	20人
1.10.24	自殺危機初期介入スキル研修	こころの健康センター 副主幹 山 田 和 子 こころの健康センター 担当係長 青 木 直 美	22人

(ケ) 自殺未遂者相談支援事業従事者研修

保健福祉センターの精神保健福祉相談員・保健師を対象に、従事する職員の資質および技術の向上を目的に研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
1.7.24	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年の事業報告 ・自殺未遂者相談支援事業の概要 ・事例検討 ・効果的な自殺未遂者対策 	こころの健康センター 担当係長 青 木 直 美 こころの健康センター 担当係長 長 尾 尚 子	28人

(コ) ひきこもり相談窓口事業研修会

保健福祉センターの精神保健福祉相談員・保健師を対象に、従事する職員の資質および術の向上を目的に研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
2. 1. 14	ひきこもりの理解と家族支援 大阪市のひきこもり支援施策について	メンタルワークス大阪 代表 岡崎 剛 こころの健康センター 臨床心理職員 三谷 大樹	39人
2. 2. 4	ひきこもりのアウトリーチ支援の実際	みこころクリニック 院長 水野 龍男	46人

イ 精神保健福祉関係 人材養成研修

(ア) 現任研修〈全体研修〉と合同で実施

訪問看護・居宅支援事業者、精神保健福祉施設等で精神保健福祉業務に従事する職員の資質および技術の向上を目的に専門的な研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
1. 9. 5	パーソナリティ障がい	なんば・ながたメンタルクリニック 院長 永田 利彦	57人
1. 11. 12	インターネット依存	大阪市立大学大学院医学研究科 片上 素久	58人

(3) 普及啓発

市民に対する精神保健福祉に関する知識や精神障がいについての正しい知識などの普及啓発を行った。

ア こころの健康講座

市民のこころの健康づくりを推進するために、こころの健康をテーマに講演会を実施した。

年月日	講座内容	講師	参加者数
1. 8. 21	身近なうつ病について知ろう ～かかわりのヒント～	石田クリニック 院長 石田 徹	25人
1. 9. 19	こころ健やかな暮らしのために ～怒りとの上手な付き合い方～	上島医院 精神保健福祉士 川端 大輔	55人
1. 10. 8	よく分かる双極性障がい	かつもとメンタルクリニック 院長 勝元 榮一	62人

2.1.27	統合失調症について知ろう ～医師・支援者の話と 当事者の体験談～	大阪市こころの健康センター 所長 吉野 祥一 こころの相談ネット ふうが 相談員 松岡 由美 ピアサポーター 2名（匿名）	32人
--------	--	---	-----

イ ひきこもり市民講座

市民や学校関係者等のひきこもりへの理解を深めることを目的として、2回の市民講座を開催した。

年 月 日	講 座 内 容	講 師	参加者数
2.1.27	ひきこもりの理解とかかわり方のヒント	メンタルワークス大阪 代表 岡 崎 剛	56人
2.2.18	ひきこもりから自立に向けて ～居場所支援の現場から～	特定非営利活動法人 淡路プラッツ 藤 村 泰 王	36人

ウ 思春期関連問題市民講座

思春期の子どもを持つ親、市民、教職員などを対象に、思春期のこころの健康についての普及啓発を目的に講座を開催した。

年 月 日	講座内容	講 師	参加者数
2.2.19	思春期のこころの発達 ～かかわり方のヒント～	大久保クリニック 院長 大 久 保 圭 策	22人
2.3.4	思春期のこどもとのコミュニケーション	特定非営利活動法人 淡路プラッツ 浅 井 紀 久 子	※

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

(4) 調査研究

地域精神保健福祉活動の推進並びに精神障がい者の社会復帰の促進及び自立と社会経済活動への参加の促進等についての調査研究をするとともに、必要な統計及び資料を収集整備した。

(5) 技術支援

ア 関係機関への一般相談

平成31年度技術支援状況

各区の保健福祉センターや関係機関における対応困難事例について、精神科医師や精神保健福祉相談員・臨床心理職員などが相談、支援を行っている。

技術支援

1. 相談件数 (件)

4月	199
5月	233
6月	380
7月	278
8月	271
9月	217
10月	257
11月	276
12月	290
1月	169
2月	240
3月	210
合計	3020

2. 新規・再相談の別 (件)

新規相談	2808
今年度新規相談	21
今年度再相談	191
合計	3020

3. 対象者の性別 (人)

男性	1808
女性	1193
不明	19
合計	3020

4. 年齢別 (人)

10歳未満	1
10歳～12歳	0
13歳～15歳	45
16歳～18歳	78
19歳～20歳	65
21歳～29歳	322
30歳～39歳	626
40歳～49歳	638
50歳～59歳	557
60歳～69歳	258
70歳～79歳	150
80歳以上	62
不明	218
合計	3020

5. 相談手段 (件)

電話相談	2908
こころに來所相談	94
保健福祉センター面接	10
訪問相談	8
合計	3020

6. 相談業務従事者 (人)

医師	2
相談員	2923
心理職員	6
事務職員	0
その他	44
医師・心理職	0
医師・心理職・PSW	3
医師・PSW	3
心理職・PSW	0
医師・相談員	32
医師・相談員・事務職員	7
合計	3020

7. 相談内容 (件)

治療に関して	24
医療機関紹介	35
情報に関して	76
でかける相談	48
医療・手帳関係	2
通報関係	2455
制度の問題	23
近隣トラブル	8
本人への対応	276
その他	73
合計	3020

8. 相談経路 (件)

保健福祉センター	499
支援課(生保)	11
医療機関	40
社会復帰施設	4
教育機関	1
社会福祉施設	7
老人保健施設	0
児童福祉施設	2
関係団体	8
その他	2448
合計	3020

9. 相談種別 (件)

老人保健	7
社会復帰	31
アルコール	78
病気に関する問題	2412
心の健康づくり	10
薬物関連問題	185
思春期問題	35
うつ・うつ状態	13
DVIに関して	2
ギャンブル	70
ひきこもり	13
自殺関連	26
犯罪被害	0
災害	0
発達障がい	6
摂食障害	1
てんかん	0
ゲーム	8
その他	123
合計	3020

10. 援助の方法 (件)

所内カンファレンス	28
地域・外部とカンファレンス	4
地域支援会議等参加	0
相談員等に個別支援	55
GW・教室等支援	0
関係機関紹介	18
情報提供	174
助言	231
その他	2510
合計	3020

イ でかけるチーム精神保健相談

地域における精神保健福祉相談での複雑困難事例に対応するため、各区の保健福祉センターからの要請に基づき、こころの健康センターの専門職員によるチームを編成し、各区にでかけて事例検討、訪問及び面接等の専門的な技術援助・支援を行い、もって地域の精神保健福祉活動の向上を図っている。

平成31年度でかけるチーム精神保健相談

	電話相談	面接相談	家庭訪問	ケース会議	合 計
件 数	26	9	10	16	61

ウ 個別支援

平成31年度個別支援状況

市民の個別相談については、原則、各区保健福祉センターで対応しているが、直接、個別にこのころの健康センターに相談があった事例については、以下のように対応し、必要に応じて各区の保健福祉センターに引き継いでいる。

個別支援

1. 相談件数	(件)
4月	224
5月	174
6月	239
7月	220
8月	165
9月	170
10月	200
11月	244
12月	211
1月	177
2月	237
3月	207
合計	2468

2. 新規・再相談の別	(件)
新規相談	762
今年度新規相談	21
今年度再相談	1685
合計	2468

3. 対象者の性別	(人)
男性	1520
女性	941
不明	7
合計	2468

4. 年齢別	(人)
10歳未満	2
10歳～12歳	2
13歳～15歳	33
16歳～18歳	42
19歳～20歳	44
21歳～29歳	215
30歳～39歳	402
40歳～49歳	483
50歳～59歳	346
60歳～69歳	236
70歳～79歳	101
80歳以上	55
不明	507
合計	2468

5. 相談手段	(件)
電話相談	2218
こころに来所相談	175
訪問相談	75
合計	2468

6. 相談業務従事者	(人)
医師	0
相談員	1824
心理職員	32
事務職員	516
医師・相談員	96
医師・心理	0
医師・心理・相談員	0
その他	0
合計	2468

7. 相談内容	(件)
治療に関して	153
医療機関紹介	138
情報に関して	196
制度の問題	38
本人への対応	457
その他	1486
合計	2468

8. 相談経路	(件)
保健福祉センター	30
支援課(生保)	9
医療機関	143
社会復帰施設	1
教育機関	1
社会福祉施設	0
老人保健施設	0
児童福祉施設	0
関係団体	7
その他	2277
合計	2468

9. 相談種別	(件)
老人保健	4
社会復帰	17
アルコール	261
病気に関する問題	833
心の健康づくり	65
薬物関連問題	146
思春期問題	22
うつ・うつ状態	20
DVIに関して	2
ギャンブル	223
その他	851
摂食障害	0
てんかん	0
ゲーム	24
合計	2468

10. 援助の方法	(件)
助言	628
関係機関紹介	204
保健センターのフォロー	20
その他	1616
合計	2468

11. 相談区	(件)
北	73
都島	81
福島	26
此花	33
中央	61
西	22
港	48
大正	65
天王寺	36
浪速	59
西淀川	42
淀川	169
東淀川	115
東成	41
生野	97
旭	83
城東	97
鶴見	50
阿倍野	66
住之江	71
住吉	106
東住吉	78
平野	108
西成	57
不明	522
市外	172
市内だが不明	90
合計	2468

(6) 精神保健福祉相談

ア 思春期関連問題相談

思春期は心身の変化が著しく、対人関係の悩みやストレスによる身体の症状などの問題が生じやすく、様々な不安や葛藤等に端を発して、精神障がい（統合失調症・うつ病・摂食障がい・社交不安障がい・強迫性障がい等）を引き起こしやすいことが知られている。思春期関連問題としては、不登校、家庭内暴力、非行、摂食障がい、自傷行為、性に関する問題等があり、いずれの問題も非常に複雑であることから一筋縄の対応ではうまくいかないことが多い。また、これらの問題に加えて、近年ではインターネット依存やいじめによる自殺等も大きな問題となってきている。これらに対応するため、平成12年10月から、専門の精神科医師、臨床心理職員等による個別相談を予約制で、大阪市こころの健康センターにおいて実施している。

平成31年度 思春期関連問題相談実施状況

相談件数 (件)

	合計
実件数	30
延件数	66

対象者の内訳 (実件数)

(人)

年齢	～12	13～15	16～18	19～20	21～	合計
男性	1	10	3	2	0	16
女性	1	3	7	2	1	14
合計	2	13	10	4	1	30

相談内容 (実件数)

(人)

年齢	～12	13～15	16～18	19～20	21～	合計
不登校	2	11	2	0	0	15
ひきこもり	0	0	0	1	1	2
摂食障がい	0	0	0	0	0	0
精神疾患疑い	0	0	3	0	0	3
情緒不安定	0	0	0	0	0	0
発達障がい	0	1	0	0	0	1
その他	0	1	5	3	0	9
合計	2	13	10	4	1	30

※その他、思春期関連問題について、各区保健福祉センターへの技術援助を行っている。

イ 薬物関連問題相談

覚せい剤等薬物の乱用、とりわけ低年齢層の薬物乱用や、危険ドラッグの乱用者が犯罪や重大な交通事故を引き起こす事案が後を絶たず、社会問題となっている。一方、薬物関連問題についての専門相談機関は極めて少ない状況にある。

このような状況の中、大阪市こころの健康センターでは、平成12年10月から専門の精神科医師による薬物関連問題相談（予約制）を実施している。

【平成31年度 薬物関連問題相談実施状況】

相談件数 (人)

	男性	女性	合計
実件数	15	10	25
延件数	19	13	32

対象者の内訳 (人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
男性	2	4	1	3	5	0	15
女性	1	3	3	2	0	1	10
合計	3	7	4	5	5	1	25

相談者別（重複あり） (人)

本人	9
配偶者	4
両親	12
兄弟・姉妹	3
その他（知人、支援者など）	32

薬物の種類（重複あり） (人)

覚せい剤	13
大麻	7
有機溶剤	0
危険ドラッグ	5
その他（睡眠薬、向精神薬など）	23

主な相談内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族の対応の仕方について ・ 薬物依存症の治療について ・ 本人への治療指導を希望 ・ 断薬継続のための生活上の注意について ・ 地域支援に向けての処遇検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 薬物依存症はどんな病気か ・ 治療につなげるにはどうしたらよいか ・ 退院後の処遇について ・ 家族間の調整
	など

ウ こころの悩み電話相談

社会が複雑になるにつれて、市民のメンタルヘルスを維持するために、気軽に利用できる相談窓口が必要とされている。このようなニーズに応じるために、平成12年4月から、こころの健康に関することなど、市民のこころの悩みに、臨床心理職員、精神保健福祉相談員などの専門職員が電話で相談に応じている。 開設時間：平日の午前9時30分～午後5時

平成31年度電話相談状況

1. 相談者	(人)
本人自身	3,293
親	107
配偶者	34
子供	28
兄弟	21
友人	14
その他	19
不明	0
合計	3,516

2. 相談者の性別	(人)
男性	1,215
女性	2,301
不明	0
合計	3,516

3. 対象者の性別	(人)
男性	1,268
女性	2,248
不明	0
合計	3,516

4. 対象者の年齢区	(人)
10歳未満	6
10歳～14歳	13
15歳～19歳	45
20歳～29歳	140
30歳～39歳	294
40歳～49歳	791
50歳～59歳	1,143
60歳～69歳	626
70歳以上	90
不明	368
合計	3,516

5. 対象者居住地	(件)
北	0
都島	74
福島	17
此花	12
中央	12
西	29
港	24
大正	16
天王寺	11
浪速	22
西淀川	8
淀川	37
東淀川	27
東成	246
生野	20
旭	296
城東	29
鶴見	63
阿倍野	27
住之江	12
住吉	29
東住吉	139
平野	190
西成	68
市内だが不明	23
府下	957
その他	621
不明	90
合計	3,516

6. 相談種別	(件)
老人に関する問題	70
社会復帰に関して	6
アルコール問題	26
薬物に関する問題	12
思春期の問題	22
こころの健康について	1,398
病気に関する問題	1,612
制度の問題	7
うつ・うつ状態	166
ギャンブル	7
摂食障害	0
てんかん	2
その他	188
合計	3,516

7. 相談内容(重複あり)	(件)
育児上の問題	4
家庭内の問題	608
学校についての問題	14
職場・仕事等の問題	180
近隣との関係	76
性の悩み相談	7
異性との関係	77
性格についての悩み	25
食欲の異常	0
症状について	1,640
医療機関について	121
病気の知識について知りたい	23
精神障害者への関わり方について	22
社会復帰に関して	38
社会資源に関して	63
話がしたい・話相手がほしい	988
人生相談	27
その他	97
合計	4,010

8. 援助方法	(件)
助言	1,112
他機関紹介	217
傾聴	2,143
その他	44
合計	3,516

(7) 自殺防止対策事業

全国の自殺者数は平成 10 年に急増し 3 万人を超えて以来、連続して 3 万人を超える状態が続いており、平成 21 年までは概ね年間 3 万人前後で推移していた。平成 23 年以降は一貫して減少傾向を維持しているが、依然として多い状況には変わらない。国は自殺対策基本法に基づく自殺対策の指針である「自殺総合対策大綱」を策定し、その中で地方公共団体をはじめ、医療機関、民間の団体等との密接な連携を図りつつ総合的に自殺対策を推進していくこととしている。

また、平成 21 年 4 月に発表された「経済危機対策」の具体的施策の中で、都道府県に当面 3 年間の対策に係る「地域自殺対策緊急強化基金」を造成（その後の補正予算で基金を積み増し、平成 26 年度まで延長。）し、平成 26 年度補正予算において同基金の対象を一部限定しつつ、新たに地域自殺対策強化交付金を設けて、地域における自殺対策力を強化してきた。

大阪市の自殺者数は、全国の傾向と同様に減少傾向を維持しているが、平成 30 年の自殺死亡率（人口 10 万人あたりの自殺死亡者数。人口動態統計。）は 18.7 と政令指定都市の中では最も高い値になっており、これらの状況を受け自殺防止対策として次の事業を行っている。

ア 自死遺族相談

平成 19 年 11 月から「自死遺族相談」を開設し、自死遺族に対して臨床心理士・精神保健福祉相談員等による面接相談を実施している。

相談実施日 第 1・第 3 金曜日、第 2・第 4 木曜日（予約制）

平成 31 年度実施状況

実人数 24 人 延相談数 140 件

イ 自殺未遂者相談支援事業

自殺には多様かつ複雑な原因・背景があり、自殺未遂者を支えるためには心身の健康から社会的支援まで総合的・複合的な取り組みが必要なことから、平成 21 年 11 月から自殺未遂者への相談支援を開始した。

本事業は、警察署で自殺未遂者として取り扱った方の相談に応じ、精神科医療の必要な方は医療に繋ぎ、また心理的に追い込まれ、視野狭窄に陥るなど一時的に理解・判断ができなくなっている方に対して傾聴相談を行い適切な関係機関に繋ぎ、更なる自殺行為を防ぐことを目的としている。

開始時は市内 4 区（東淀川・港・城東・住吉）で試行実施し、平成 22 年 7 月から 12 区（前述に加え淀川・生野・鶴見・阿倍野・住之江・東住吉・平野・西成）に拡充し、平成 23 年 1 月から市内全域を対象に実施している。また、平成 25 年 1 月からは、大阪府全域で実施している。

平成 31 年度実施状況 受理延件数 527 件

ウ ゲートキーパーの養成

自殺防止のために一番大切な気づきが行える地域の中心的な役割を果たすべき人材（ゲートキーパー）の育成として、大阪府内の大学に在学する大学生等に研修を実施している。

ゲートキーパー養成研修

年月日	内 容・講 師	対 象 者	参加者数
1. 10. 8	大学生のためのゲートキーパー研修 「こころのサインに気づいたら～私達にできること～」	大阪総合保育大学学生	134 人
1. 11. 26		大手前大学学生	65 人
1. 12. 12 1. 12. 17		大阪市立大学学生	75 人 40 人

エ 自殺予防啓発活動の取り組み

9月10日～16日の「自殺予防週間」、3月の「自殺対策強化月間」にあわせて大阪府・堺市等とともに「自殺予防街頭キャンペーン」及び「集中電話相談」を行った。

1. 自殺予防街頭キャンペーン

- 1) 日 時：令和元年9月10日（火）午前8時～9時
令和2年3月 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止
- 2) 場 所：京橋駅前等
- 3) 内 容：自殺予防カード入りポケットティッシュ等の配布
- 4) 主 催：大阪市、堺市

2. 集中電話相談

- 1) 期 間：令和元年9月1日（日）～令和元年9月30日（月）（24時間受付）
（9月1日（日）は午前9時30分から開始、9月30日（月）は午後5時で終了）
令和2年3月1日（日）～令和2年3月31日（火）（24時間受付）
（3月1日（日）は午前9時30分から開始、3月31日（火）は午後5時で終了）
- 2) 内 容：自殺に関する相談やこころの健康に関する相談をおこなう 24時間の集中電話を設置
- 3) 主 催：大阪府、大阪市、堺市

オ こころの健康相談統一ダイヤル

平成23年4月から自殺予防集中電話相談事業として、国が実施している全国共通の電話番号を設定する「こころの健康相談統一ダイヤル」を実施している。こころの健康に関する相談に対応することで、それらが原因となる自殺予防を図るため、市民のこころの悩みに、臨床心理職員、精神保健福祉相談員などの専門職員が電話で相談に応じている。

開設時間：平日の午前10時～12時 午後1時～5時

カ うつ病予防の普及啓発

各種パンフレット等を作成し、「こころの健康問題」に対する意識の高揚を図っている。

キ うつ病の家族教室

家族が正しい知識を学び、病気を理解し、本人への接し方を考えるためのうつ病の家族教室（1クール2回を2クール）を開催した。また、うつ病家族の自助グループの育成を目指し、継続して交流会を行っている。

○実施状況

第1クール 延参加者数 29人

第2クール 延参加者数 21人

○交流会（平成31年4月～令和2年3月）

開催回数 10回 延参加者数 43人

ク 大阪市自殺対策検討連絡会議

平成21年3月から大阪市精神保健福祉審議会・自殺防止対策部会と大阪市関係各担当が連携して自殺対策を推進し、施策等について協議・検討するため、大阪市自殺対策検討連絡会議を開催している。

○第17回 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

(8) ひきこもり相談窓口事業

「ひきこもり」は様々な要因の結果として、就学や就労などの社会的参加を回避し、原則的には6か月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態である。内閣府の実態調査の結果では、満15歳から39歳のひきこもり状態にある者は54.1万人、満40歳から64歳のひきこもり状態にある者は61.3万人と推計され、8050問題を含むひきこもりについては、大きな社会問題となっている。

大阪市では、こころの健康センターにおいて、平成21年度よりひきこもり地域支援センターの運営を開始し、ひきこもり問題の早期発見・早期対応のため、情報把握、精神保健医療等のサービスの必要性の判断、必要な支援機関につなぐ等の支援を行い、ひきこもりの一次相談窓口や情報発信、関係機関との連携など、ひきこもりの相談を実施するとともにその推進を図っている。

また、対象者の相談内容等に応じた適切な支援を行うことができるよう、事例検討会や関係局会議を開催している。

ひきこもり電話相談 開設時間：平日の午前10時～正午 電話相談後、必要に応じ面接・訪問を行っている。

ア 平成31年度ひきこもり電話相談件数

1. 相談件数内訳 (件)

延件数	572
実件数	293

2. 相談者 (延人数)

ひきこもり本人	174
母	200
父	43
配偶者	3
子ども	0
兄弟姉妹	36
友人	0
その他	116
計	572

3. 対象者の性別 (実人数)

男性	186
女性	93
不明	14
計	293

4. 対象者の年齢 (実人数)

18歳未満	21
18・19歳	23
20歳代	69
30歳代	47
40歳代	52
50歳代以上	30
不明	51
計	293

5. 対象者居住地 (実人数)

北	15
都島	11
福島	3
此花	6
中央	8
西	6
港	6
大正	2
天王寺	10
浪速	1
西淀川	11
淀川	24
東淀川	18
東成	8
生野	11
旭	10
城東	18
鶴見	7
阿倍野	9
住之江	11
住吉	16
東住吉	11
平野	16
西成	3
市内だが不明	20
市外	19
不明	13
計	293

6. 相談種別 (実件数)

不登校	19
ひきこもり (第1群：精神)	94
ひきこもり (第2群：発達)	19
ひきこもり (第3群：PD等)	4
ひきこもり (その他)	62
その他	95
計	293

7. 相談内容 (重複あり) (延件数)

1 本人との関わり方	172
2 就学・学業	17
3 就労	19
4 当事者の居場所	11
5 医療機関	21
6 親の会	6
7 将来の不安	48
8 金銭面	13
9 他者との交流	19
10 話を聞いてほしい	69
11 他都市の情報	3
12 その他	174
計	572

8. 相談後の処遇 (延件数)

助言	179
他機関紹介	118
傾聴	68
面接予約	82
アウトリーチ予約	3
他機関との連携	68
その他	54
計	572

イ 平成 31 年度ひきこもり面接相談件数（実 49 件、延 89 回）

1. 面接相談者（延人数）		2. 面接の種別（実件数）		3. 面接結果の処遇（延回数）	
ひきこもり本人	28	不登校	1	助言	55
母	65	ひきこもり(第 1 群:精神)	16	他機関紹介	21
父	10	ひきこもり(第 2 群:発達)	11	傾聴	5
配偶者	0	ひきこもり(第 3 群:PD 等)	4	面接予約	7
子ども	0	ひきこもり(その他)	13	アウトリーチ予約	0
兄弟姉妹	4	その他	4	他機関との連携	1
友人	1	計	49	その他	0
その他	0			計	89
計	108				

ウ 平成 31 年度ひきこもりアウトリーチ（訪問支援）件数（実 5 件、延 7 回）

	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代以上	年齢不明	延件数	実件数
男性	0	4	0	1	0	0	5	3
女性	0	1	0	1	0	0	2	2
計	0	5	0	2	0	0	7	5

(9) 依存症対策支援事業

平成30年度から大阪市こころの健康センターを依存症相談拠点とし、依存症対策支援事業を実施している。

ア 相談支援事業

(ア) 依存症相談員による相談

依存症相談員を配置し、開庁時、常時相談に応じている。

	アルコール	薬物	ギャンブル等	その他	計
相談数	341	340	297	134	1,112

(イ) 専門の医師による相談

専門の医師による相談（予約制）を実施した。

【平成31年度 アルコール関連問題相談実施状況】

相談件数 (人)

	男性	女性	合計
実件数	35	2	37
延件数	35	2	37

対象者の内訳 (人)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
男性	3	3	12	13	1	3	35
女性	0	1	1	0	0	0	2
合計	3	4	13	13	1	3	37

相談者別（重複あり） (人)

本人	10
配偶者	13
両親	7
兄弟・姉妹	8
その他（知人、支援者など）	38

主な相談内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ アルコール依存症はどんな病気か ・ アルコール依存症の治療について ・ 本人への治療指導を希望 ・ 断酒継続のための生活上の注意について ・ 地域支援に向けての処遇検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族の対応の仕方について ・ 治療につなげるにはどうしたらよいか ・ 自助グループについて ・ 家族間の調整
	など

【平成 31 年度 ギャンブル等関連問題相談実施状況】

相談件数 (人)

	男性	女性	合計
実件数	39	3	42
延件数	41	3	44

対象者の内訳 (人)

	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
男性	5	15	13	3	3	39
女性	1	1	0	0	1	3
合計	6	16	13	3	4	42

相談者別 (重複あり) (人)

本人	26
配偶者	14
両親	20
兄弟・姉妹	0
その他 (知人、支援者など)	27

ギャンブル等の種類 (重複あり) (人)

パチンコ・パチスロ	38
競馬	14
競輪	8
競艇	2
オートレース	0
その他	9

主な相談内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ ギャンブル等依存症はどんな病気か ・ ギャンブル等依存症の治療について ・ 本人への治療指導を希望 ・ 生活上の注意について ・ 地域支援に向けての処遇検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族の対応の仕方について ・ 治療につなげるにはどうしたらよいか ・ 自助グループについて ・ 家族間の調整 <p style="text-align: right;">など</p>
--	--

(ウ) 依存症相談対応力強化事業 (土日電話相談「おおさか依存症土日ホットライン」)

平成 30 年 6 月から、土日の昼間の時間帯 (13:00~17:00) における電話相談を開始した。

【大阪府・堺市と共同実施 (委託事業)】

○電話相談件数 (4 月~3 月) 291 件

イ 依存症支援者育成事業

(ア) アルコール関連問題に係る支援者育成事業 (「飲酒と健康を考える会」)

医療機関・地域包括支援センター・訪問看護ステーション・断酒会・AA・アルコール関連

作業所等でアルコール関連問題にかかる支援者を対象に、研修を実施した。

年 月 日	講 義 内 容	講 師	参加者数
1. 9. 27	講演「女性のアルコール依存症」 事例検討・意見交換会	阪和いずみ病院 大西 英周	27 人
1. 10. 16	講演「依存症からの回復過程とそれに 応じた支援について～当事者、支援者それ ぞれの立場から～」 意見交換会	リカバリハウスいちご所長 佐古 恵利子	29 人
1. 11. 15	講演「高齢者のアルコール依存症」 事例検討・意見交換会	新生会病院院長 和気 浩三	33 人
1. 12. 16	講演「アルコール依存症の基本と対応」 意見交換会	藤井クリニック 精神保健福祉士 藤井 望夢	27 人

(イ) 行政職員専門研修事業

ギャンブル等依存症相談に従事する行政職員を対象に研修を実施した。

【大阪府・堺市と共同実施】

年 月 日	講 義 内 容	講 師	参加者数
1. 10. 10	<ul style="list-style-type: none"> ・ギャンブル等依存症の基本 ・治療プログラムについて ・事例検討 	大阪精神医療センター ギャンブル依存症治療チーム	35 人
2. 1. 23		大阪精神医療センター ギャンブル依存症治療チーム	30 人

(ウ) 医療機関職員専門研修事業

依存症専門医療機関の選定条件の一つである「依存症治療指導者養成研修」として医療機
関職員を対象に研修を実施した。【大阪府・堺市と共同実施】

年 月 日	内 容	講 師	参加者数
1. 10. 26	<ul style="list-style-type: none"> ・やめさせようとするしない依存症治療の実践 ・体験談 ・大阪精神医療センターでのアルコール依存 症治療について 	埼玉県立精神医療センター 副病院長 成瀬 暢也 当事者 大阪精神医療センター 医師 大谷 夏実	72 人
1. 12. 14	<ul style="list-style-type: none"> ・依存症臨床の基礎 ・体験談 ・大阪精神医療センターでのギャンブル等 依存症治療について 	神奈川県立精神医療センター 医療局長 小林 桜児 当事者 大阪精神医療センター ギャンブル依存症治療チーム	70 人
2. 2. 8	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物依存症の治療と支援 ・体験談 ・大阪精神医療センターでの薬物依存症治療 について 	埼玉県立精神医療センター 副病院長 成瀬 暢也 当事者 大阪精神医療センター 薬物依存症治療チーム	46 人

ウ 普及啓発・情報提供事業

(ア) 市民向け啓発講演会

市民を対象に依存症に関する知識の普及を目的にアルコール・薬物・ギャンブル等の依存症に関する講座を実施した。

年月日	テーマ	講師	参加者数
【アルコール依存症について知ろう！】			
1. 10. 23	① アルコール依存症ってどんな病気？	新生会病院 院長 和 気 浩 三	56 人
1. 11. 18	② アルコールに関する問題を抱える方への対応について	新生会病院 精神保健福祉士 小 仲 宏 典	55 人
【薬物依存症について知ろう！】			
1. 8. 28	① 薬物依存症ってどんな病気？	久米田病院 副院長 狩 山 博 文	51 人
1. 10. 7	② 薬物問題のある人を助けようとする時に知っておきたいいくつかのこと	京都府立大学 准教授 山 野 尚 美	61 人
【ギャンブル等依存症について知ろう！】			
1. 9. 3	①ギャンブル等依存症ってどんな病気？	大阪精神医療センター 医師 入 来 晃 久	45 人
1. 9. 30	②ギャンブル等に関する問題を抱える方への対応について	藤井クリニック精神保健福祉士 藤 井 望 夢	55 人

(イ) 啓発用パンフレットの作成

アルコール・薬物・ギャンブル等の依存症に関する普及啓発のため、パンフレットを作成し、各区保健福祉センター、地域関係機関、医療機関等に配布した。

○「アルコールの問題でお困りの方へ」「薬物の問題で困りの方へ」「ギャンブル等の問題でお困りの方へ」 各 3,000 部作成

(ウ) ギャンブル等依存症問題啓発週間（5月14日～20日）における取組み

①街頭キャンペーン（大阪府・堺市と共同実施）

相談窓口を記載した啓発物品（ポケットティッシュ）を配布した

実施日；5月14日

実施場所；JR京橋駅北口周辺、JR天王寺駅周辺、JR大阪駅周辺、南海中百舌鳥駅周辺

②民間事業者への啓発物品の配架（大阪府、堺市と共同実施）

相談窓口を記載した啓発物品（ポケットティッシュ）を配架した

配架場所

- ・大阪府遊技業協同組合加盟のパチンコ・パチスロ店
- ・ブッキースタジアム岸和田（岸和田競輪場） ・ボートレース住之江 ・ウインズ難波
- ・ウインズ道頓堀 ・ウインズ梅田 ・DASH心斎橋 ・サテライト大阪
- ・ボートピア梅田 ・ボートレースチケットショップりんくう

③パネル展示

大阪市こころの健康センターにおいて、啓発資料のパネル展示をおこなった

④Osaka Metro 主要駅（21 駅）でのチラシ配架

大阪市依存症相談の窓口を掲載したチラシを配架した

(エ) アルコール関連問題啓発週間（11 月 10 日～16 日）における取組み

大阪市こころの健康センターにおいて、啓発資料のパネル展示及び相談窓口を掲載したチラシと啓発物品（ポケットティッシュ）の配架をおこなった

エ 依存症家族支援事業（依存症者の家族教室）

依存症に悩む人たちを支える家族のための教室（3 回コース）を実施した。

<アルコール>

年 月 日	テ ー マ	講 師	参加者数
1. 11. 28	アルコール依存症について	阪和いずみ病院 医師 大 西 英 周	12 人
1. 12. 9	家族の対応について	小谷クリニック 精神保健福祉士 山 本 哲 也	24 人
1. 12. 16	体験談・交流会	当 事 者 家 族	13 人

<薬物>

年 月 日	テ ー マ	講 師	参加者数
1. 12. 6	薬物依存症について	大阪精神医療センター 医師 入 来 晃 久	6 人
1. 12. 20	C R A F T を用いた家族の対応について	藤井クリニック 精神保健福祉士, 社会福祉士 小 野 史 絵	7 人
2. 1. 21	体験談・交流会	当 事 者 家 族	5 人

<ギャンブル等>

年 月 日	テ ー マ	講 師	参加者数
2. 1. 30	ギャンブル等依存症について	大谷大学 教授 滝 口 直 子	15 人
2. 2. 5	借金問題への対応について	大阪いちょうの会 司法書士 田 渕 智 之	4 人
2. 2. 21	体験談・交流会	当 事 者 家 族	※

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

オ 依存症関連機関連携会議

大阪府における依存症者の支援に関することについて協議・検討するため、大阪府依存症関連機関連携会議に参画している。

カ 依存症治療拠点及び専門医療機関の選定

依存症患者が適切な医療を受けられるようにするため、基準に基づく依存症に関する専門医療機関及び、治療拠点となる医療機関を選定している。

<選定医療機関>

	保険医療機関名称	保険医療機関所在地	対象の依存症		
			アルコール	薬物	ギャンブル
専門 医療機関	医療法人 藤井クリニック	大阪市都島区東野田 町1-2 1-7-2 F	○	○	○
	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪精神医療センター	枚方市宮之阪三丁目 16番21号	○	○	○
	医療法人小谷会 小谷クリニック	大阪市阿倍野区旭町 1-1-27-2F	○		
治療 拠点機関	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪精神医療センター	枚方市宮之阪三丁目 16番21号	○	○	○

キ 薬物乱用防止対策事業

(ア) 薬物関連問題従事者研修（「薬物乱用防止に関わる教職員研修」）

全市校園の養護教諭・保健主事を対象に、従事する職員の資質および技術の向上を目的に研修を実施している。

年月日	内容	対象者	講師	参加者数
1.12.24	薬物乱用と依存について	養護教諭 保健主事 生活指導担当者	こころの健康センター医長 高橋 宏史	327人

(イ) 啓発用リーフレットの配付

各区で実施される「成人の日記念のつどい」に参加する新成人に対して薬物乱用防止啓発用リーフレットを配布した。

年月日	リーフレット名	対象者	配付数
2.1.13	わかっているのにやめられない ～それって依存症かも～	新成人	17,000部

(10) 措置入院者等退院後支援事業

入院をした精神障がい者は、地域生活を送る上で様々な課題やニーズを抱えていることが多く、円滑な社会復帰等の観点からは、そのニーズに応じて、退院後に必要な医療、福祉、介護、就労支援等の支援を受けられる環境を整備することが重要である。

大阪市では、こころの健康センターにおいて、平成 30 年度より「大阪市措置入院者等退院後支援事業」を実施し、入院中の精神障がい者が、社会復帰の促進及び自立と社会経済活動への参加促進等のために必要な医療等の包括的支援を継続的かつ確実に受けることにより、地域でその人らしい生活を安心して送ることができるよう支援をしている。

※支援対象者：退院後の医療等の支援を行う必要がある入院中の精神障がい者のうち、退院後支援に関する計画に基づく支援をうけることを希望したもの。

支援実績状況

		延件数	支援対象(重複)				
			本人	家族	医療機関	支援関係者	合計
支援方法	電話	522	48	26	246	246	566
	面接	18	0	1	3	14	18
	訪問	223	201	29	103	101	434
合計		763	249	56	352	361	1018

(11) 組織の育成

地域精神保健福祉の向上を図るため、保健福祉センターにおいて、各区の自助組織・家族会・ボランティア等の育成に努めているが、これに協力するとともに、広域的な組織の育成に努めている。

(12) 精神医療審査会

平成8年4月からの精神保健福祉法の大都市特例の施行に伴い、同法第12条に基づき、大阪市精神医療審査会を設置し、平成12年4月の大阪市こころの健康センター設立により、その事務局を同センターに置いた。精神医療審査会は10名の委員で構成され2つの合議体に区分し、定期病状報告書等の審査及び退院・処遇改善請求等の審査を行い、精神科病院入院患者の適正な医療及び保護の確保に努めている。なお、精神医療審査会の円滑な運営のために予備委員5名をおいている。

ア 開催状況

全体会議	令和2年 3月19日 ※中止
合議体 審 査	平成31年 4月18日
	令和元年 5月17日
	令和元年 6月20日
	令和元年 7月19日
	令和元年 9月 5日
	令和元年 9月20日
	令和元年10月17日
	令和元年11月15日
	令和元年12月19日
	令和2年 1月17日
	令和2年 2月20日
	令和2年 3月13日

※全体会議については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面での開催

イ 入院届・定期病状報告の審査状況

(件)

		医療保護入院 者の入院届	医療保護入院者 の定期病状報告	措置入院者の 定期病状報告	合 計
審	査 件 数	748	2	13	763
結 果	現入院形態が適当	748	2	13	763
	他の入院形態へ移行	0	0	0	0
	入院の必要なし	0	0	0	0

ウ 退院・処遇改善請求の審査状況

(件)

請求件数		結果	
退院請求 (うち処遇改善請求を含む)	34 (5)	現入院形態が適当	7 (1)
		他の入院形態へ移行	4
		取り下げ等	21 (4)
		請求審査中	2
処遇改善請求 (単独)	2	現処遇が適当	0
		現処遇が不適当	1
		取り下げ等	1

エ 実地審査状況

入院後概ね3か月を経過した措置入院患者及び実地審査の必要があると認めた医療保護入院患者等を対象に、病状及び措置に関する実地審査を実施し、精神障がい者の人権尊重を基本とした適正な医療の確保に努めている。

(件)

	審査件数	結果		対象となった 病院数
		現入院形態が適当	他の入院形態へ移行	
措置入院	7	6	1	7
医療保護入院	5	5	0	5
任意入院	9	9	0	7
合計	21	20	1	18

(13) 大阪市自立支援医療費（精神通院）支給認定・手帳交付審査委員会の運営（委員数7人）

平成18年4月1日に精神保健福祉審議会の部会として設置し、平成21年8月1日からは、組織を独立させ、審査会議として設置要綱を制定し、さらに、平成25年4月1日からは執行機関の附属機関に関する条例に基づき、大阪市自立支援医療費（精神通院）支給認定・手帳交付審査委員会として設置している。自立支援医療費（精神通院）支給認定、精神障がい者保健福祉手帳の等級判定に係る審査を行う委員会の運営を行っている。

平成31年度開催回数 24 回

2 精神保健福祉主管課業務

平成12年4月の大阪市こころの健康センター開設時より、精神保健福祉主管課の業務の一部を実施している。

(1) 精神保健福祉審議会の運営（委員数 12人）

精神保健福祉法第9条第1項及び大阪市精神保健福祉審議会条例に基づき、本市の精神保健福祉施策全般について審議する大阪市精神保健福祉審議会の運営事務を行っている。

○第25回 大阪市精神保健福祉審議会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

(専門部会)

ア 自殺防止対策部会（委員数 11人）

平成20年7月1日に自殺防止対策部会設置要綱を制定し、自殺対策基本法の理念に基づき、市民が「生きやすい社会」の実現を目指し、総合的・効果的な自殺防止対策について審議を行っている。

○第24回 大阪市精神保健福祉審議会・自殺防止対策部会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

(2) 措置・緊急措置診察（入院）事業

ア 措置診察

精神保健福祉法第27条にもとづく精神保健指定医による措置診察を実施している。措置入院患者の移送については、本市職員が同乗して本市救急車で移送を行っている。

(件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
措置診察件数 (含む本鑑定)	17	24	34	22	25	23	18	27	31	12	22	22	277
22条申請	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
23条通報	14	24	32	20	22	20	17	25	29	12	22	20	257
24条通報	3	0	1	1	3	2	1	1	2	0	0	2	16
26条等通報	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3
措置入院件数（該当）	17	23	33	19	21	19	18	24	27	11	17	19	248
非該当件数	0	1	1	3	4	4	0	3	4	1	5	3	29
要入院	0	1	1	2	2	2	0	3	1	1	3	3	19
要通院	0	0	0	1	1	1	0	0	3	0	1	0	7
医療不要等	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	3

イ 緊急措置診察

夜間・休日の対応については、緊急措置診察受付窓口を大阪府・堺市と共同で設置し、平日夜間は午後5時から翌日午前9時、休日は24時間、警察からの通報を受け付け、待機職員が緊急措置診察業務を行っている。

(件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
緊急措置診察件数	12	16	27	11	15	19	14	17	20	10	20	15	196
緊急措置入院件数（該当）	9	16	24	9	12	17	13	16	19	8	18	14	175
非該当件数	3	0	3	2	3	2	1	1	1	2	2	1	21
要入院	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3
要通院	2	0	2	1	3	1	0	1	1	2	1	1	15
医療不要等	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3
緊急措置入院後の措置診察件数	10	15	19	11	12	17	12	16	18	8	17	12	167

(3) 医療保護入院等の移送事業

精神保健福祉法第34条に基づく「医療保護入院等のための移送事業」については平成12年7月から開始した。移送のための診察にあたっては各区の保健福祉センターと大阪市こころの健康センターが合同で事前調査を行っている。移送は本市の救急車で行き、大阪市こころの健康センター職員が同乗し、精神障がい者の人権に配慮した医療の確保に努めている。

【平成31年度実績 2件】

(4) 精神障がい者保健福祉手帳の交付

各種の支援サービス利用を可能にし、精神障がい者の社会復帰と社会参加の促進を図るために交付している。

【平成31年度末精神障がい者保健福祉手帳交付者数 38,889名】

(1級 3,024人 2級 22,700人 3級 13,165人)

(5) 障がい者の乗車料金福祉措置

平成9年10月から、市営（平成30年4月1日より民営化）の地下鉄・市バス・ニュートラム等の乗車料金を等級に応じた割引を実施しており、手帳所持者に乗車料金割引証または無料乗車証を交付している。

(6) 自立支援医療費（精神通院）の支給認定

障害者総合支援法に基づき精神障がい者の通院医療について、医療費の一部に対し公費負担を行っている。

【平成31年度末受給者数 66,740人】

【自立支援医療費（精神通院）公費負担額 11,838,004,821円】

(7) 精神障がい者地域生活支援広域調整等事業

大阪市では平成14年11月から精神科病院に長期入院中の患者の退院に向けて地域生活移行支援事業を実施してきた。平成18年4月に障がい者自立支援法が成立し、地域生活支援事業のうち精神障がい者退院促進支援事業が都道府県業務となったが、大阪市は大阪府から委託を受けて、市内9か所の地域活動支援センター（生活支援型）の自立支援員やピアサポーターとともに事業を実施してきた。

平成20年度に、国による「地域移行支援特別対策事業実施要綱」が制定されたことで、本市も「コーディネーターの配置」「退院促進ピアサポート事業」「体験宿泊推進事業」を特別強化策として実施し、平成21年度には、本事業のさらなる推進を図るために「精神障がい者地域生活移行支援事業検討会議」を設置した。

なお、平成24年度の障害者自立支援法の改正により地域移行支援が個別給付となった。

平成30年4月から、大阪市独自の取り組みとして、精神科病院に長期（概ね1年以上）入院している者で、寛解・院内寛解状態にも関わらず退院意欲の低い者に対し、退院意欲向上のための支援を行う「地域生活移行推進事業」を実施している。

ア 地域移行支援の実施状況（過去10年間）

(人)

年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
退院	21	19	15	14	16	16	13	12	17	11
退院に至らず支援中止・中断	2	2	2	6	10	7	0	2	2	4
退院に至らず支援継続	32	26	17	24	18	11	8	12	9	16
合計	55	47	34	44	44	34	21	26	28	31

(平成31年度：R2年5月請求分までの状況)

イ 地域生活移行推進事業

支援対象者（精神科病院で、病状が安定し退院可能な長期入院者）に対し、こころの健康センターが選定した登録事業者が、精神科病院等に訪問し、退院意欲を高めることで障がい者自立支援給付制度の地域移行支援の申請ができるよう支援することを目的として実施している。

平成31年度 推進事業利用者及び支援状況

利用者：11人（前年度からの継続者4人）

内 平成31年度中に地域移行支援の申請を行った者：6人

内 退院した者：2人

ウ ピアサポーターによる啓発活動

ピアサポーターが入院患者や病院関係者に対し地域生活について情報提供することで、入院患者の退院意欲を高めると共に、精神科病院職員の地域移行への士気を高めることで地域移行支援等の利用を促進する。また、ピアサポーターが自身の体験談を語ることで、地域住民や支援者等が精神障がいについての理解を深め、差別や偏見のない、あらゆる人が共生できる包摂的な社会を構築することを目的として実施している。

精神科病院への啓発

実施日	場所	対象者	参加者数
2. 2. 14	こころの健康センター	地域移行支援利用者、 病院職員、地域支援者	37人

市民・支援者への啓発

実施日	場所	対象者
1. 5. 21	住吉区保健福祉センター	障がい福祉サービス事業所職員
1. 6. 19	中央区保健福祉センター	患者家族
1. 6. 19	鶴見区保健福祉センター	患者家族
1. 6. 25	淀川区保健福祉センター	患者家族
1. 7. 24	生野区保健福祉センター	患者家族
1. 7. 25	住之江区保健福祉センター	患者家族
1. 9. 18	西淀川区保健福祉センター	患者家族
1. 11. 20	中央区保健福祉センター	患者家族
1. 12. 13	阿倍野区保健福祉センター	患者家族
1. 12. 23	平野区保健福祉センター	患者家族
2. 1. 28	東淀川区保健福祉センター	患者家族
2. 1. 28	こころの健康センター	市民
2. 2. 5	旭区保健福祉センター	患者家族
2. 2. 6	東成区保健福祉センター	患者家族
2. 2. 13	阿倍野区保健福祉センター	ボランティア
2. 2. 21	港区保健福祉センター	患者家族
2. 2. 26	生野区保健福祉センター	患者家族
2. 2. 26	都島区保健福祉センター	患者家族

エ ピアサポーター交流会

ピアサポーターが当事者支援の輪と活動の場を広げることを目的とし交流会を行った。

実施日	内 容	場 所	参加者数
1. 7. 3	・自己紹介、近況報告 ・情報交換	こころの健康センター	9人
1. 9. 18	・ピアサポーター養成講座と合同 「語りの効果」について	こころの健康センター	8人
1. 11. 19	・保健師との交流 ・活動報告、情報交換	こころの健康センター	15人
2. 1. 15	・地域交流会の企画、話し合い ・情報交換	こころの健康センター	9人

オ ピアサポーター養成講座

入院患者の退院意欲を高め、社会的入院を解消していくためには、当事者の仲間であるピアサポーターの存在が極めて重要かつ有効である。地域生活移行支援事業を利用して退院し地域生活を送っている精神障がい者等でピアサポート活動を希望する者を対象とし、当事者支援の輪と活動の場を広げることを目的に養成講座を開催している。平成31年度は6人が修了した。

実施日	内 容	講 師
1. 8. 19	ピアサポートの持つ意義と役割	大阪府立大学社会福祉学部 准教授 松 田 博 幸
1. 8. 27	リカバリーについて	大阪府立大学社会福祉学部 准教授 松 田 博 幸
1. 9. 6	退院促進の意義と大阪の精神科病院事情	大阪精神医療人権センター 山 本 深 雪
1. 9. 12	精神科病院でのピアサポーターの関わりと地域での啓発活動	ピアサポーター
1. 9. 18	語りの効果	桃山学院大学 教授 栄 セツコ
1. 9. 26	語りの実際①	こころの健康センター 精神保健福祉相談員
1. 10. 3	語りの実際②	こころの健康センター 精神保健福祉相談員
1. 10. 8	語りの実践とその評価について	桃山学院大学 教授 栄 セツコ

カ 技術支援・コーディネート

内 容	訪問 (件)	電話 (件)
地域移行ケース相談	2	78
地域移行相談者への事前面接	7	
地域移行相談者ケースカンファレンス	20	

地域移行相談者への継続面接	19	
地域移行ケア会議	0	
病院訪問啓発活動及び連絡調整	2	15
病院啓発講座	0	
合 計	50	93

(8) 心神喪失者医療観察法に基づく社会復帰支援

重大な他害行為を行った心神喪失者等に対して継続的かつ適切な医療や地域ケアを確保して、その社会復帰を促進することを目的に心神喪失者等医療観察法が平成17年に施行された。

こころの健康センターでは、保護観察所および医療機関が定例的に実施するケア会議に出席し、関係機関、各区保健福祉センターが主体的に地域処遇にかかわれるよう技術支援をしている。

平成17年7月から平成31年度末までの対象者は101人で、平成31年度末までに医療観察処遇を終了した者は83人となっている。

ア 平成31年度医療観察法対象者および支援状況

対象者 :26人 (内新規対象者:9人)

新規対象者9人の内訳

(処 遇: 入院処遇対象者4人 通院処遇対象者5人
	疾病別: 統合失調症2人 妄想性障がい1人 統合失調感情障がい1人
	精神遅滞ベース統合失調症1人 アルコール依存症1人
	うつ病2人 睡眠薬使用による依存症候群1人

ケア会議出席:73回

イ 医療観察制度に係る業務連絡会への参加

医療観察法における対象者への処遇を適正かつ円滑に実施するため、大阪保護観察所が開催する会議に参加している。

実施日	内 容	参 加 者
1. 6. 19	大阪の医療観察事件の係属状況 地域処遇に係る情報交換	大阪市こころの健康センター 担当者 大阪府こころの健康総合センター 担当者 堺市こころの健康センター 担当者
2. 1. 31	制度に係る意見交換	大阪保護観察所 社会復帰調整官

(9) 精神科救急医療体制整備事業

ア おおさか精神科救急ダイヤルの設置

大阪府・堺市と共同で相談窓口の少ない夜間・休日の時間帯を中心に精神科救急医療の利用などについて、平成14年7月29日から、24時間体制で電話相談に応じることのできる「こころの救急相談」を設置していた。平成27年度より開設時間を夜間・休日とし、「おおさか精神科救急ダイヤル」に変更した。かかりつけの医療機関が診療を行っていない夜間・休日において、精神疾患を有する方やその家族の方などから、こころの病気に関する緊急時に必要に応じて精神科救急医療機関の利用について案内を行うとともに、相談のなかで医療的な判断等が必要な場合は精神科救急病院の医師の助言を求めて速やかに対応を行う。

平成31年度（平成31年4月1日～令和2年3月31日）おおさか精神科救急ダイヤル利用状況

（大阪府下全域の合計件数）

(1) 相談利用

種別	件数 (件)	割合 (%)
新規	4,449	25.5
継続	12,091	69.3
不明	917	5.2
合計	17,457	100.0

(2) 利用者

種別	件数 (件)	割合 (%)
本人	13,777	78.9
家族その他	3,680	21.1
合計	17,457	100.0

(3) 性別

種別	件数 (件)	割合 (%)
男	7,713	44.2
女	9,409	53.9
不明	335	1.9
合計	17,457	100.0

(4) 地域

種別	件数 (件)	割合 (%)
大阪市内	7,764	44.4
府域	8,181	46.9
他府県	206	1.2
不明	1,306	7.5
合計	17,457	100.0

(5) 年齢

種別	件数 (件)	割合 (%)
10歳未満	0	0
10歳代	61	0.3
20歳代	625	3.6
30歳代	1,158	6.6
40歳代	5,354	30.7
50歳代	2,082	11.9
60歳代	4,678	26.8
70歳代	273	1.6
80歳代以上	49	0.3
不明	3,177	18.2
合計	17,457	100.0

(6) 相談内容（複数有り）

結果	件数 (件)	割合 (%)
医療関係	10,234	51.9
福祉関係	353	1.8
その他	9,144	46.3
合計	19,731	100.0

イ 精神科救急医療情報センターの設置

おおさか精神科救急ダイヤル、救急隊、警察からの相談に対して、精神科救急医療情報センターの精神保健福祉士等が医療機関と連携して受診が必要かどうかを判断し、受診が必要な場合は症状等にあった医療機関に受診を予約している。

【受付時間】

平 日 17時から翌朝9時
土曜日・休日 9時から翌朝9時

ウ 一次救急医療体制の整備

精神科救急医療情報センター、おおさか精神科救急ダイヤルで外来対応可能と判断された場合に、大阪市が開設している精神科一次救急診療所にて外来対応を行っている。

【受付時間】

平日・土曜日 20時から23時30分
日曜日・休日 10時から16時30分

エ 二次救急医療体制の整備

精神科救急医療情報センターで入院医療も含めた救急受診が必要と判断された場合に速やかに入院できるよう、府内の精神科病院に救急入院用病床を確保するとともに外来対応も行っている。

【受付時間】

平 日 17時から翌朝9時 , 土曜日・休日 9時から翌朝9時

○確保病床件数及び受診件数(大阪市・大阪府・堺市) (件)

	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
病床確保数	2,190	2,857	2,928	3,023	3,016	3,031	3,031	3,039	3,033	3,065
入院件数	1,361	1,379	1,518	1,309	1,367	1,425	1,339	1,327	1,334	1,545
外来受診件数	445	436	397	384	327	334	254	265	284	275
合計	1,806	1,815	1,915	1,693	1,694	1,759	1,559	1,592	1,618	1,820

オ 身体合併症治療体制の確保

平成14年4月1日から大阪府の精神科救急医療システムで運用し、大阪府・堺市と共同で身体合併症受入病院を府下に11病院で対応している。

○身体合併症受入病院(11病院)

北野病院・大阪大学医学部附属病院・大阪急性期・総合医療センター

大阪市立大学医学部附属病院・藍野病院・関西医科大学総合医療センター・東香里病院

浅香山病院・大阪医科大学附属病院・大阪市立総合医療センター・大阪赤十字病院

○身体合併症患者の受入件数(大阪市・大阪府・堺市)

(件)

病院名	精神科 病床 数	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
北野病院	12	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
大阪大学医学部附属病院	52	1	1	0	2	2	0	5	3	4	5
大阪急性期・総合医療センター	34	108	111	102	86	83	67	64	84	73	86
大阪市立大学医学部附属病院	38	5	6	5	1	4	4	2	2	3	1
藍野病院	600	74	74	73	78	70	81	118	154	98	113
関西医科大学総合医療センター	39	3	4	10	9	5	2	14	82	151	164
東香里病院	173	16	18	5	17	6	13	9	10	1	63
浅香山病院	828	41	45	37	37	33	46	29	21	31	40
大阪医科大学附属病院	60	6	8	9	9	19	14	12	21	4	13
大阪市立総合医療センター	55	7	9	22	24	33	23	31	41	24	23
大阪赤十字病院	42	4	2	5	2	4	8	8	4	4	3
合 計	1,933	265	278	269	265	259	270	292	422	393	511

※病床数は令和2年3月31日現在の数である。

カ 夜間・休日精神科合併症支援システム

精神科合併症患者については、医療機関での受け入れが、通常の場合に比べ時間を要している状況であり、精神科合併症患者を受け入れた二次救急病院や救命救急センター（以下、「二次救急病院等」と言う。）を支援し、救急患者をスムーズに受け入れ、その後の治療まで切れ目なく対応するために、大阪府・堺市と共同で「夜間・休日精神科合併症支援システム」を平成27年8月17日から運用している。

- システムの稼働時間
平日夜間（午後5時から翌朝9時まで）及び休日（土・日曜日、祝日、年始・年末）
- 輪番の合併症支援病院（精神科病院）数及びベッド数
2病院、ベッド数2床（各病院1床ずつ）
- 利用状況（平成29年4月1日から令和2年3月31日）

(月別利用件数) (件)

	H29	H30	H31
4月	23	21	19
5月	25	18	34
6月	22	24	31
7月	18	20	24
8月	24	21	13
9月	19	31	20
10月	18	28	21
11月	18	28	12
12月	13	22	17
1月	14	27	17
2月	21	15	24
3月	29	22	18
合計	244	277	250

(対応内訳) (件)

	H29	H30	H31	合計
コンサルテーション	110	121	117	348
精神科病院外来受診	16	15	15	46
精神科病院入院	112	132	109	353
その他	6	9	9	24
合計	244	277	250	771

おおさか精神科救急情報センター 平成31年度（平成31年4月1日～令和2年3月31日）実績報告

1. 対応件数 (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10	11	12	1月	2月	3月	合計
総件数	196	281	235	218	222	246	209	190	265	214	200	219	2,695

2. 相談経路

	件数
救急隊	563
おおさか精神科救急ダイヤル	843
警察	892
その他	397
合計	2,695

3. 発生地域

	件数
大阪府	1,498
大阪市	1,061
堺市	131
府外発生対象外	0
不明	5
合計	2,695

4. 対象者性別

	件数
男性	1,257
女性	1,398
不明	40
合計	2,695

5. 対応医療機関件数 (件)

浅香山	15
小曾根	6
こころあ	11
貝塚中央	50
木 島	81
久米田	113
京 阪	30
光 愛	6
国 分	136
阪 本	27
さ わ	266
結のぞみ	127
七 山	101
ねや川サナトリウム	29
阪 南	175
水 間	13
浜 寺	28
精神医療センター	4
茨 木	4
新阿武山	31
大阪さやま	5
八尾こころのホスピタル	9
関西サナトリウム	9
丹比荘	40
阪奈サナトリウム	7
ほくとクリニック	158
関西記念	14
吉 村	16
オレンジホスピタル	5
小 阪	5
榎 坂	5
新生会	3
東香里	4
阪和いずみ	4
和泉中央	8
合 計	1,545

6. 時間帯別入電件数 (件)

0:00～0:59	120
1:00～1:59	94
2:00～2:59	74
3:00～3:59	61
4:00～4:59	50
5:00～5:59	45
6:00～6:59	38
7:00～7:59	14
8:00～8:59	2
9:00～9:59	109
10:00～10:59	83
11:00～11:59	69
12:00～12:59	70
13:00～13:59	74
14:00～14:59	73
15:00～15:59	77
16:00～16:59	49
17:00～17:59	421
18:00～18:59	264
19:00～19:59	207
20:00～20:59	202
21:00～21:59	189
22:00～22:59	163
23:00～23:59	147

(10) 精神保健福祉に関する予算・決算業務

社会復帰施設の建設・整備以外の精神保健福祉に関する事業の予算・決算業務等を大阪市こころの健康センターで実施している。

第 3 資 料

1 大阪市精神保健福祉審議会 開催内容

第1回 平成8年4月30日（火） 於；大阪コクサイホテル

審議事項

- ・大阪市精神保健福祉審議会の設置について
- ・大阪市精神保健福祉審議会条例

第2回 平成9年9月12日（金） 於；大阪第一ホテル

審議事項

- ・大阪市の精神保健福祉センターの機能のあり方について
- ・（仮称）大阪市障害者支援プランについて

報告事項

- ・平成9年度精神保健福祉関係事業について
- ・大和川病院について

第3回 平成10年9月11日（金） 於；大阪市役所

審議事項

- ・審議会の公開について
- ・大阪市障害者支援プランについて
- ・地域保健法及び地域精神保健福祉体制について

報告事項

- ・平成10年度精神保健福祉事業について
- ・精神保健福祉法の改正について

第4回 平成12年2月22日（火） 於；大阪市役所

審議事項

- ・「大阪市障害者支援プラン」の進捗状況等について
- ・「（仮称）大阪市こころの健康センター」の設置と新たな地域精神保健福祉体制について
- ・大阪市内における精神科救急体制の検討について
- ・施設コンフリクトの解消に向けた基本的な考え方について

報告事項

- ・精神保健福祉法の改正について

第5回 平成13年2月8日（木） 於；こころの健康センター

審議事項

- ・「大阪市内における精神科救急医療体制の整備に関する中間とりまとめ（案）」について

報告事項

- ・「大阪市障害者支援プラン」の進捗状況等について
- ・大阪市こころの健康センターの事業実績等について

第6回 平成14年3月28日（木） 於；こころの健康センター

審議事項

- ・大阪市の精神科救急医療体制の整備について

報告事項

- ・「大阪市障害者支援プラン」の進捗状況等について
- ・精神保健福祉に関する平成14年度新規事業

第7回 平成15年2月7日（金） 於；こころの健康センター

審議事項

- ・（仮称）大阪市精神科救急医療部会の設置について
- ・新障害者支援計画の策定について

報告事項

- ・大阪市こころの健康センターの事業実績等について

第8回 平成16年3月26日（金） 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪市障害者支援計画・重点施策実施計画」の策定について
- ・「通院医療費公費負担・手帳交付審査部会」「精神科救急医療部会」開催状況について
- ・大阪市こころの健康センター事業実績及び平成16年度予算（案）の概要について

第9回 平成17年3月28日（月） 於；大阪市立大学医学部医療研修センター

報告事項

- ・「大阪市障害者支援計画・重点施策実施計画」の進捗状況について（報告）
- ・「通院医療費公費負担・手帳交付審査部会」「精神科救急医療部会」の開催状況について（報告）
- ・大阪市こころの健康センター事業実績及び平成17年度予算（案）の概要について
- ・「心神喪失者等医療観察法」について
- ・障害者自立支援法案の概要

第10回 平成18年3月28日（火） 於；こころの健康センター

報告事項

- ・障害者自立支援法案の概要について
- ・「通院医療費公費負担・手帳交付審査部会の開催状況について」
- ・新たな精神科救急医療体制について
- ・大阪市こころの健康センター事業実績及び平成18年度予算（案）の概要について
- ・精神保健福祉法改正に伴う精神保健福祉審議会の取り扱いについて

第11回 平成19年3月26日（月） 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自立支援医療費（精神通院）支給認定・手帳交付審査部会」の開催状況について
- ・精神保健福祉関係平成19年度予算の概要について
- ・障害者自立支援法に基づく福祉サービスの現状について
- ・障害福祉計画について

第12回 平成20年3月26日（水） 於；こころの健康センター

審議事項

- ・「自殺防止対策部会」の設置について

報告事項

- ・精神保健福祉関係平成20年度予算の概要について
- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自立支援医療費（精神通院）支給認定・手帳交付審査部会」への部会名称変更及び開催状況について
- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行条例について
- ・障がい者福祉サービスの現状について

第13回 平成21年3月30日（月） 於；こころの健康センター

審議事項

- ・「大阪市自殺対策基本指針（案）」について

報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自立支援医療費（精神通院）支給認定・手帳交付審査部会」の開催状況について
- ・精神保健福祉関係平成21年度予算の概要について
- ・第2期大阪市障害福祉計画について

第14回 平成22年1月21日（木） 於；こころの健康センター

審議事項

- ・会長の選出について
- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行条例の一部改正について
- ・専門部会の再開について

報告事項

- ・自殺防止対策関係識者検討会議の報告について
- ・今後のスケジュールについて

第15回 平成22年3月26日（金） 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成22年度精神保健福祉関係予算の概要について

第16回 平成23年3月14日(月) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成23年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・障害者制度改革等について

第17回 平成24年3月29日(木) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・大阪市障害者支援計画・障害福祉計画について
- ・平成24年度精神保健福祉関係予算の概要について

第18回 平成25年3月26日(火) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成25年度精神保健福祉関係予算の概要について

第19回 平成26年3月26日(水) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪府精神科救急医療運営審議会」の開催状況について
- ・「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成26年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・次期大阪市障がい者支援計画・大阪市障がい福祉計画の策定について

第20回 平成27年3月31日(火) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪府精神科救急医療運営審議会」の開催状況について
- ・「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成27年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・大阪市障がい者支援計画・第4期大阪市障がい福祉計画（案）について

第21回 平成28年3月23日(水) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・大阪版新精神科救急体制（精神科合併症支援システム）について
- ・平成28年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の施行に向けた本市の取組みについて

第22回 平成29年3月30日(木) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成29年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・地域支援調整チームからの意見に対する回答について

第23回 平成30年3月28日(水) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について及び「大阪市自殺対策基本指針（第2次）」（案）について
- ・平成30年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・地域支援調整チームからの意見に対する回答について

第24回 平成31年3月22日(金) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成31年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・地域支援調整チームからの意見に対する回答について

第25回 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

2 精神医療審査会

(1) 運営状況

ア 精神医療審査会の開催状況（過去10年間） (回)

		年度										
		22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
審	査	会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	※
合	議	体	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

※審査会（全体会議）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面での開催

イ 入院届の審査状況（過去10年間） (件)

		年度										
		22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
入	院	届	590	670	664	672	843	771	732	788	761	748
結 果	現入院形態が適当	590	670	664	672	843	771	732	788	761	748	
	他の入院形態へ移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	入院の必要なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

ウ 医療保護入院者定期病状報告の審査状況（過去10年間） (件)

		年度													
		22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				
定	期	病	状	報	告	0	0	0	0	0	2	1	1	1	2
結 果	現入院形態が適当	0	0	0	0	0	2	1	1	1	2				
	他の入院形態へ移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	入院の必要なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

エ 措置入院者定期病状報告の審査状況（過去10年間） (件)

		年度													
		22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				
定	期	病	状	報	告	21	17	24	39	33	22	24	21	15	13
結 果	現入院形態が適当	21	17	24	39	33	20	24	21	15	13				
	他の入院形態へ移行	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0				
	入院の必要なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

オ 退院請求の審査状況（過去10年間）

（件）

		年度									
		22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
退 院 請 求		14	19	11	16	16	22	13	27	30	34
結 果	現入院形態が適当	4	6	2	2	7	6	7	6	7	7
	他の入院形態へ移行	0	2	1	5	0	2	1	3	2	4
	入院の継続は適当でない	—	—	—	—	—	—	—	1	1	0
	取り下げ、審査継続等	10	11	8	9	9	14	5	17	20	23

カ 処遇改善請求の審査状況（過去10年間）

（件）

		年度									
		22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
処 遇 改 善 請 求		1	3	4	5	1	0	4	5	3	7
結 果	処 遇 が 適 当	1	1	1	1	1	0	0	1	0	1
	処遇が適当でない	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	取 り 下 げ 等	0	2	3	4	0	0	4	3	3	5

(2) 実地審査状況（過去10年間）

（件）

		年度									
		22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
審 査 件 数		17	21	26	24	20	22	22	24	21	21
結 果	現入院形態が適当	17	21	26	24	20	21	22	24	21	20
	他の入院形態へ移行	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	入院の必要なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 措置（緊急措置）診察・入院状況（過去10年間）

（件）

年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
申請・通報件数	246	290	294	302	373	327	343	299	364	397
22条申請	0	1	0	0	0	2	4	2	3	1
診察せず・他	0	1	0	0	0	2	4	2	3	0
措置診察件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
措置入院件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
非該当件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23条通報	127	134	133	121	135	131	120	88	139	141
診察せず	49	59	79	80	90	97	90	40	43	51
措置診察件数	78	75	54	41	45	34	30	48	96	90
措置入院件数	73	73	50	39	43	33	27	45	89	84
非該当件数	5	2	4	2	2	1	3	3	7	6
24条通報	31	31	43	36	41	26	22	23	21	23
診察せず	12	2	7	12	13	12	6	4	6	7
措置診察件数	19	29	36	24	28	14	16	19	15	16
措置入院件数	14	24	34	19	28	14	13	14	12	16
非該当件数	5	5	2	5	0	0	3	5	3	0
25条、26条通報	88	125	118	145	197	174	197	186	201	232
診察せず	87	124	116	143	196	174	197	185	201	229
措置診察件数	1	1	2	2	1	0	0	1	0	3
措置入院件数	1	1	2	2	1	0	0	0	0	2
非該当件数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
緊急措置診察件数	135	110	122	104	98	80	105	134	145	252
緊急措置入院件数	114	93	110	90	84	69	89	110	116	175
本鑑定実施せず他	17	6	11	7	3	1	8	4	6	8
本鑑定件数	97	87	99	83	81	68	80	107	110	167
該当件数	81	75	87	75	74	56	72	98	91	145
非該当件数	16	12	12	8	7	12	8	9	19	22
非該当件数	21	16	12	14	13	11	16	24	27	56

※ 同年度において「緊急措置入院件数＝本鑑定実施せず＋本鑑定件数」となっていない年度があるのはその年度末の緊急措置診察の本鑑定を翌年度に行っているため。

大阪府下の精神科病床を有する病院（令和元年6月末日現在）

（指定病院数には国立・府立病院を含む）

	病 院 数	指定病院数	精神科病床
大 阪 市 内	7病院	6病院	235床
堺 市 内	6病院	4病院	2,599床
大 阪 府 下 (大阪市・堺市を除く)	50病院	36病院	15,985床
合 計	63病院	46病院	18,819床

大阪市内の精神科病床を有する病院（平成30年6月末日現在）

		病 院 名	精神科病床	
大阪市内	国立病院	大阪医療センター	4床	
	府立病院	大阪急性期・総合医療センター	34床	
	指定病院	大阪市立総合医療センター		55床
		大阪市立大学医学部附属病院		38床
		ほくとクリニック病院		50床
		大阪赤十字病院		42床
	そ の 他	北野病院	12床	
合 計			235床	

4 精神障がい者保健福祉手帳交付状況（過去10年間）

（人）

年度		22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
等 級	1 級	2,547	2,668	2,722	2,733	2,672	2,721	2,727	2,628	2,808	3,024
	2 級	11,961	13,354	14,313	15,016	15,772	16,964	17,776	18,367	20,516	22,700
	3 級	4,814	5,337	6,361	7,737	9,287	10,056	11,134	12,629	12,798	13,165
交付数 計		19,322	21,359	23,396	25,468	27,731	29,741	31,637	33,624	36,122	38,889

5 精神障がい者保健福祉手帳所持者数

(平成31年度末現在)

(人)

区	等級	1級	2級	3級	計
北		74	606	478	1,158
都島		92	706	447	1,245
福島		48	298	211	557
此花		107	443	301	851
中央		53	407	312	772
西		56	428	309	793
港		76	654	368	1,098
大正		74	561	325	960
天王寺		59	382	276	717
浪速		79	575	429	1,083
西淀川		61	550	411	1,022
淀川		187	1,305	695	2,187
東淀川		175	1,856	966	2,997
東成		93	727	338	1,158
生野		180	1,238	594	2,012
旭		148	857	535	1,540
城東		162	1,301	610	2,073
鶴見		95	807	412	1,314
阿倍野		98	798	418	1,314
住之江		137	1,032	566	1,735
住吉		194	1,735	915	2,844
東住吉		198	1,439	770	2,407
平野		343	2,258	1,246	3,847
西成		235	1,737	1,233	3,205
合計		3,024	22,700	13,165	38,889

7 自立支援医療費（精神通院）
受給者数

(平成31年度末現在) (人)

区	受給者数
北	2,248
都島	2,176
福島	1,105
此花	1,442
中央	1,538
西	1,442
港	1,900
大正	1,738
天王寺	1,312
浪速	1,943
西淀川	1,846
淀川	4,047
東淀川	5,436
東成	2,059
生野	3,535
旭	2,562
城東	3,841
鶴見	2,222
阿倍野	2,213
住之江	2,873
住吉	4,703
東住吉	3,884
平野	5,803
西成	4,872
合計	66,740

6 自立支援医療費（精神通院）受給者数状況（過去10年間）

(人)

年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
受給者数	41,313	43,878	46,918	49,419	52,086	54,446	57,497	60,271	63,167	66,740

8 保健福祉センターにおける相談指導の状況

(平成31年度実績) (人)

	面接相談		電話相談	訪問指導		精神保健福祉 相談 合計
	実人員	延人員①	延人員②	実人員	延人員③	① + ② + ③
北	261	1,014	1131	45	128	2,273
都 島	170	288	715	49	89	1,092
福 島	104	320	247	40	91	658
此 花	196	661	883	51	132	1,676
中 央	107	410	661	51	155	1,226
西	209	783	816	40	99	1,698
港	159	681	882	68	248	1,811
大 正	252	1,432	838	68	125	2,395
天王寺	95	313	997	46	156	1,466
浪 速	134	486	794	81	182	1,462
西淀川	172	591	525	26	81	1,197
淀 川	252	658	843	61	138	1,639
東淀川	292	913	1,837	103	327	3,077
東 成	162	673	546	29	227	1,446
生 野	316	1,283	1,472	93	179	2,934
旭	162	565	587	47	122	1,274
城 東	150	437	1,028	66	181	1,646
鶴 見	189	609	513	57	131	1,253
阿倍野	212	956	791	59	153	1,900
住之江	162	315	439	71	168	922
住吉	241	767	2,545	169	380	3,692
東住吉	290	921	1,075	106	247	2,243
平 野	222	777	838	74	222	1,837
西 成	561	1,891	2,258	139	289	4,438
合計	5,070	17,744	23,261	1,639	4,250	45,255

9 保健福祉センターにおける一般クリニックの状況

(平成31年度実績)

	一般クリニック		
	回数 (回)	実人員 (人)	延人員 (人)
北	29	69	100
都 島	25	51	58
福 島	34	52	82
此 花	21	48	82
中 央	19	42	58
西	21	44	52
港	21	40	59
大 正	24	33	53
天 王 寺	21	28	52
浪 速	20	39	49
西 淀 川	21	49	50
淀 川	38	86	122
東 淀 川	44	71	110
東 成	29	47	78
生 野	24	70	82
旭	19	33	47
城 東	33	69	81
鶴 見	22	48	65
阿 倍 野	31	68	102
住 之 江	21	35	49
住 吉	27	55	72
東 住 吉	43	73	117
平 野	29	60	79
西 成	42	96	124
合 計	658	1,306	1,823

10 保健福祉センターにおける地域生活向上教室・生活技能訓練教室の状況

(平成31年度実績)

	地域生活向上教室			(再掲)生活技能訓練	
	回数	実人員	延人員	回数	延人員
北	12	9	41	3	12
都島	11	8	29	3	7
福島	12	11	50	3	17
此花	11	7	57	3	14
中央	12	7	37	3	11
西	12	6	26	3	8
港	12	13	106	3	28
大正	11	5	34	3	8
天王寺	12	8	36	3	13
浪速	11	9	67	3	20
西淀川	11	5	35	3	11
淀川	11	14	98	3	25
東淀川	12	12	91	3	23
東成	12	13	63	3	14
生野	12	13	69	3	18
旭	12	10	65	3	15
城東	12	8	63	3	11
鶴見	11	11	52	2	9
阿倍野	12	11	77	3	17
住之江	11	4	15	2	2
住吉	12	3	28	4	10
東住吉	11	7	39	3	17
平野	12	12	56	3	15
西成	12	5	50	3	13
合計	279	211	1,284	71	338

11 保健福祉センターにおける酒害教室の状況

(平成31年度実績)

	酒 害 教 室		
	回 数 (回)	実人員 (人)	延人員 (人)
北	12	46	70
西	8	36	82
港	10	25	73
大 正	11	59	162
西 淀 川	12	36	143
東 淀 川	10	25	72
生 野	23	51	207
鶴 見	11	51	126
阿 倍 野	10	50	160
東 住 吉	19	41	131
平 野	12	38	130
西 成	24	54	251
合 計	162	512	1,607

大阪市こころの健康センター所報
(平成31年度)

発行 大阪市こころの健康センター
〒534-0027
大阪市都島区中野町5丁目15番21号
都島センタービル3階
電話 06-6922-8520